

みんなで支える豊かなくらし 地域と行政をつなぐ

広域だより

 vol. **92**

2022.07.01



消防署南分署が完成しました！

令和4年2月14日に消防署南分署の開署式を行い、新庁舎での業務が開始しました。今後も地域の実情に即した消防力向上を目指していきます。

新庁舎について、詳しくは2～3ページをご覧ください。

目次（主な内容）

- ・ 南分署新消防庁舎の紹介 2、3
- ・ ごみを減量化しよう！ 4、5
- ・ 令和4年度当初予算の概要 6
- ・ はしご車の更新 7
- ・ 職員採用試験のお知らせ 8



ご紹介！

南分署 所在地：〒370-3502
群馬県北群馬郡榛東村大字山子田47-2
電話番号：0279-54-2064 FAX番号：0279-54-2092



出動準備室

出動準備室の防火衣ロッカーは、メッシュタイプで通気性が良く、フックで各種個人装備を掛けることが可能となっています。

また、腰を掛けて靴を履いたりすることもできるよう、設計されています。



事務室

事務机は固定席を持たない、フリーアドレス式を採用しています。

仮眠室

POINT

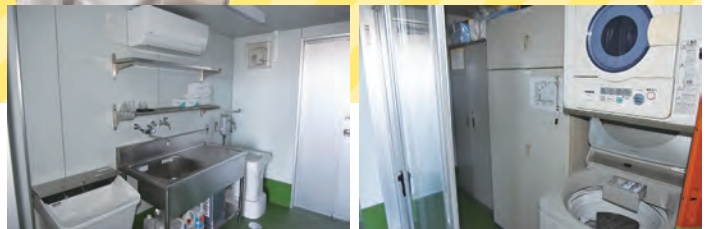
女性仮眠室を含め、11室設置し、全室個室となっています！
隊員は、静かな環境で休息し、万全の状態の出動できるよう備えています。



POINT

救急消毒室

救急消毒室は、救急活動で使用した資機材を消毒します。感染症対策のため、部屋の扉は自動ドアとなっています。



訓練棟

訓練棟では、三連梯子を活用した高所救出や崖下等の低所救出、救助用ロープを活用した降下、登はん訓練及びマンホール救助訓練といった、多様な訓練を実施することが可能で、日々隊員が様々な現場を想定した訓練に励んでいます。また、火災や訓練で使用したホースの乾燥や、懸垂幕の掲示もでき、多用途に活用できる訓練棟となっています。



南分署新消防庁舎を

消防署南分署は、吉岡町上野田地内から榛東村山子田地内に移転し、新庁舎にて業務を行っています。

旧庁舎建設から48年が経過し老朽化が進んでいたことから庁舎の移転・新築が行われました。今後予想される消防需要の増加に対応し、地域住民の安心と安全を守る防災の拠点となっています。

ここでは、新庁舎となった南分署を紹介します。



車庫

車庫には、緊急自動車が3台納められています。車庫内で車両の資機材点検ができるよう天井を高くし間口を広く設計しました。広く設計したことで、安全で迅速な出動につながります。

女性職員の配置

南分署新消防庁舎では、分署として初の女性職員専用施設を整備し、女性職員を2名配置しました。



消防副士長
尾池成巳
(平成26年4月採用)



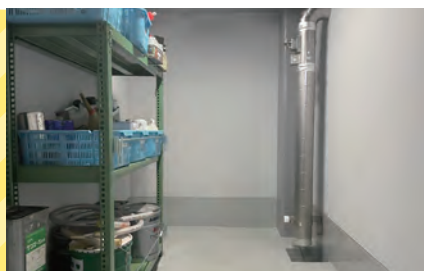
消防士
田中くるみ
(令和3年4月採用)



洗面所・シャワー室

シャワー室は2室整備され、災害等の活動後に隊員が効率よく使用できるようになっています。

物品庫、オイル庫、洗濯乾燥室



車庫内に、各種防災用品庫、洗濯乾燥室があり、出動時、速やかに車両へ資機材の積み込みができるようになっています。

しょう！ 減量を

組合では、渋川地区広域圏（渋川市、吉岡町、榛東村）の将来におけるごみ処理体系の目標を設定した「一般廃棄物処理基本計画」を策定しました。

目標として、令和18年度までにごみ総排出量を約12%削減することとしています。この実現のためには、一人ひとりが「ごみ問題」を意識し、環境に配慮した生活行動が求められています。

循環型社会形成に向けて、より一層のごみの減量化を推進するため、住民の皆様のご協力をお願いします。

広域圏のごみの現状

渋川地区広域圏で1年間に排出された全てのごみの量は、令和2年度で43,548tでした。このうち家庭から出るペットボトルや瓶などの資源ごみを除くごみの量は29,584tで、1人1日当たりのごみの排出量は721gになります。群馬県平均排出量が約640gですので、県平均と比較しても多いと言えます。

ごみ総排出量は、年々減少傾向となっていますが、より一層の削減が必要です。



ごみ処理にかかるお金

ごみ処理経費概要

項目 \ 年度	H28	H29	H30	R1	R2
ごみ総排出量	46,529	45,072	44,680	44,119	43,548
処理費及び維持管理費合計	1,128,930	1,161,311	1,157,641	1,163,742	1,153,149
1t当たり処理経費	24.3	25.8	25.9	26.4	26.5
1人当たり処理経費	9.7	10.1	10.1	10.3	10.3
1世帯当たり処理経費	24.9	25.4	25.2	25.1	24.7

※単位はごみ総排出量は（t）、それ以外は（千円）

ごみ処理は、ごみステーションに出されたごみの運搬や焼却、灰の処分など、多額の費用がかかります。令和2年度に発生したごみ総排出量にかかる処理費用は、11億5,315万円です。1人当たりに換算すると、約10,300円の処理費用がかかっています。ごみを減らしたり、資源物として分別するなどの心がけで、費用を抑えることにつながります。

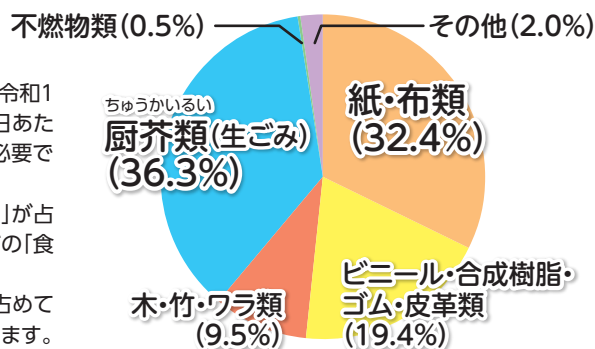
家庭系ごみの課題

家庭から出る資源ごみを除くごみの量は、現在29,584tです。令和18年度までの目標値は、年間20,256tとなります。これは、1人1日あたり582gのごみ排出量となり、現在の721gから約140gの削減が必要です。

令和2年度の調査によると、可燃ごみのうち、約36%は「生ごみ」が占めています。生ごみの中には、食べ残しや手つかずの食べ物などの「食品ロス」の問題があります。

また、紙・布類とビニール類を合わせると、全体の半数以上を占めています。これらは、適正に分別することでリサイクルが可能となります。

令和2年度：可燃ごみ組成割合の数値



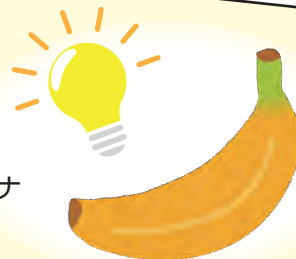
※四捨五入等の関係で、合計が一致しない場合があります。

みんなでごみを減量化

1人1日140g のごみ

取り組んでみよう!

ごみ減量化の目標達成には1人1日当たり約140g、ものに例えるとバナナ1本分の減量化が必要です。まずは身近なところから取り組んでみませんか。すぐにできる身近な方法を紹介します。



Point 1 生ごみの水切りをしよう

清掃センターに搬入されている、家庭系可燃ごみに含まれる生ごみの割合は約36%となっています。水切りすることで可燃ごみは15%程度削減できと言われていますので、それだけで45gの削減ができます。



Point 2 食品ロスを削減しよう

家庭の食品ロスは1人1日当たり60gあると言われています。これを半減することで30gの削減ができます。ご家庭では食材は必要な分を購入し、適切に保存、上手に使い切るように心がけましょう。

また、生ごみ処理機(コンポスト)を利用し、生ごみを資源化する方法もあります。



Point 3 資源物回収を利用しよう

資源物回収としては、行政で実施しているペットボトルやビン類の回収のほか、自治会や育成会などで、新聞紙やダンボール等を回収している地区もあります。

また、発泡トレイや牛乳パックなどは、購入したスーパーで回収を実施しているところもあります。これらを積極的に活用し、ごみの減量化に取り組みましょう。



店頭回収実施店舗
<https://www.ecogunma.jp/?p=5739>

プラスチックごみ回収の準備を進めています

令和4年4月1日から「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行されました。この法律では市町村は、その区域内におけるプラスチック使用製品廃棄物の分別収集及び分別収集物の再商品化に必要な措置を講ずるよう努めなければならないとされています。

これを受け、渋川市、吉岡町、榛東村、広域組合では、プラスチック類の分別収集に向け準備を進めているところです。

今後、方針がまとまりましたら各市町村広報紙やホームページに情報を掲載してまいります。

今後のごみ処理施設の整備に向けて

組合のごみ処理施設(清掃センター)は老朽化し、大規模な改修工事を計画しています。改修には莫大な経費が予想されることから、ごみの減量化を進めることで、経費の節減につなげることができます。

住民の皆様や事業者の方々、行政が互いに連携・協働することが減量化の目標達成には必要となりますので、ご協力をお願いいたします。



平成5年に供用開始した渋川広域圏清掃センター

令和4年度

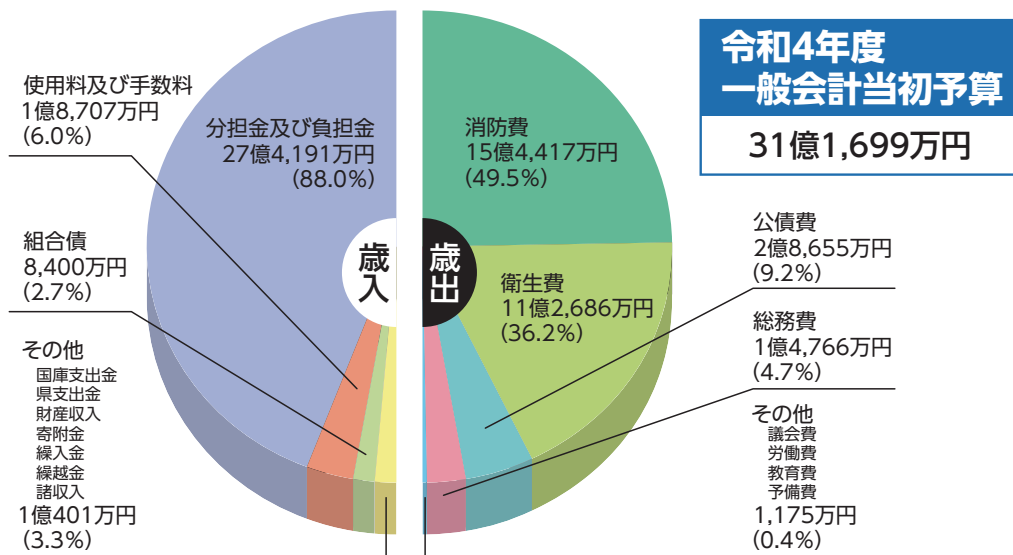
渋川地区広域市町村圏振興整備組合の予算

令和4年度当初予算と主要事業のあらましについてお知らせします。

予算の概要

一般会計予算額は31億1,699万円で、前年度比較では3億1,077万円の減額となりました。

減額の主な要因は、消防庁舎建設等事業及び消防自動車等購入事業の減によるものです。また、老朽化が進行している施設の補修工事など緊急性の高い事業に重点をおいた予算となっています。



一般会計予算区分の説明

歳入	●分担金及び負担金…組合を組織する渋川市、吉岡町、榛東村が負担するお金	●財産収入…土地貸付料、送電線線下補償料、基金利子
	●使用料及び手数料…事業所等から出される一般廃棄物のごみ処理手数料など	●寄附金…寄附としておくれたお金
	●国庫支出金…国から交付されるお金	●繰入金…積み立てていた基金から繰り入れるお金
	●県支出金…県から交付されるお金	●繰越金…前年度から繰り越されるお金
		●諸収入…預金利子や雑収入など
歳出	●議会費…議会運営に使われるお金	●組合債…国や金融機関などから借り入れるお金
	●総務費…一般管理やふるさと市町村圏事業などに使われるお金	
	●衛生費…夜間急患診療所や火葬場・斎場、ごみ処理・し尿処理の施設に使われるお金	●労働費…職業訓練センターに使われるお金
		●消防費…消防救急に使われるお金
		●教育費…広域圏運動場に使われるお金

組合の借入金について

借入金の残高 19億7,926万円
(令和4年3月31日現在)

ごみ処理施設	10億4,364万円
消防施設・車両	9億697万円
し尿処理施設	2,475万円
火葬場・斎場施設	390万円

- ふるさと市町村圏事業**
 渋川地区広域圏が一体となった魅力あるふるさとづくりを行うための事業です。グリーンフラワー事業、広域イベント助成事業、広報事業などを実施し、圏域住民へのサービス向上をめざします。
- 救急医療事業**
 圏域住民の常時診療体制を確立するため、在宅当番医制、歯科在宅当番医制及び病院群輪番制の補助事業並びに、夜間急患診療所業務を引き続き実施します。
- 火葬場・斎場事業**
 「渋川広域斎場しらゆり聖苑」では、施設の適正な維持管理に努めるため、老朽化が進む火葬炉等の補修工事を計画的に実施します。また、指定管理者制度を引き続き活用し、さらなる住民サービスの向上を目指します。
- ごみ処理事業**
 本年度も引き続き、すべての祝日（年末年始及び土・日曜日を除く）のごみ受入を実施し、圏域住民へのサービス向上に努めます。また、プラスチックごみ回収の準備を進めるとともに、容器包装リサイクル法に基づき、びん類及びペットボトルのリサイクルに努め、ごみ処理事業の充実を図ります。
- し尿処理事業**
 環境に配慮した施設の適正な運営及び維持管理を行います。
- 消防救急事業**
 近年の救急業務の増加及び高度化に対応するため、計画的な救急救命士の養成を行います。また、消防力の維持・充実・強化を図るため、西分署のはしご車のオーバーホール及び救急車の更新を行います。老朽化した消防庁舎建設に向け、今年度着工予定の東分署建設工事をはじめ、西分署実施設計業務を実施します。
- 教育関係事業**
 圏域住民の健全なレクリエーションの場として利用される、広域圏運動場各施設の維持管理に努めます。



はしご車を 更新しました



令和3年度の車両更新事業に伴い、はしご車を更新しました。
はしご車は、消防署本署に配備され、はしごの長さが従前より約5m
長い30mとなり、より高所からの救出が可能となりました。
また、はしご先端部2.54mがバスケット装置とともにマイナス方向
に屈折する先端屈折という新たな機能が装備されました。
これにより、屋上に設けられたフェンス等を超えて安全に進入、救出
することが可能となりました。



普通救命講習会の開催について

渋川広域消防本部では、心肺蘇生、自動体外式除細動器
(AED)の使用方法などを学ぶ救命講習会を次のとおり開
催します。講習会終了後に認定証が交付されます。

なお、新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、中止
する場合もあります。

- 日 時：令和4年9月10日(土) 午前9時から正午まで
- 場 所：渋川広域消防本部 2階会議室
(渋川市渋川1815番地51)
- 受 講 料：無料
- 定 員：20名(申込順)
- 対 象 者：渋川広域圏内在住、在勤、在学の方
- 申込期間：8月1日(月)から8月31日(水)まで
(土・日曜日、祝日を除く午前9時から午後5時まで)
- 申 込 先：渋川広域消防本部 警防課(☎25-4192)



清掃センターからごみの 搬入についてのご案内

清掃センターへのごみの搬入につきましては、
下記のとおりとなりますので、ご協力をお願いい
たします。

搬入日時

月曜日から金曜日(祝日も含む)
ただし、年末年始を除く

午前8時30分から正午まで
午後1時から午後4時30分まで

※ ごみの搬入の際は、午前は正午まで、午後は4時3
0分までに必ず退場できるよう、時間に余裕をもって
ご利用ください。

ごみの搬入方法、搬入できないごみ、搬入制限のあ
るごみ等につきましては、ホームページにてご確認く
ださい。



ホームページ
<http://www.sknet.or.jp/>

問い合わせ先 清掃センター(☎23-0460)

防火管理者講習のお知らせ

受講申込は(一財)日本防火・防災協会へ!

防火管理者講習は令和3年度からパンフレットの配布や、受
付業務など全ての事務を一般財団法人日本防火・防災協会が
行っています。

受講を希望される場合は、一般財団法人日本防火・防災協会
のホームページ(<https://www.n-bouka.or.jp/>)から、内容を
確認のうえ申込みをしてください。

令和3年度 情報公開・個人情報保護制度の実施状況

令和3年度中の情報公開の請求件数は、4件でした。また、個人情報の開示請求件数は、1件でした。

令和4年度 渋川地区広域市町村圏振興整備組合 職員採用試験のお知らせ



令和4年度職員採用試験（令和5年4月1日付採用）を下表のとおり行います。
なお、詳しい内容は、組合ホームページで確認してください。

- 申込書配布場所 広域組合事務局総務課、消防本部総務課、渋川広域圏内各市町村役場
- 申込方法 申込書、受験票、建築技師は免許証明書の写し、救急救命士は免許証の写しを
広域組合事務局総務課または消防本部総務課へ直接提出してください。
- 申込期間 8月1日（月）から15日（月）まで
（土・日曜日、祝日を除く午前9時から午後5時まで）
- 問い合わせ先 事務局総務課 ☎60-5200 消防本部総務課 ☎25-4191



ホームページ
<http://www.sknet.or.jp/>

職種	採用予定 人数	受験資格 (日本国籍を有し、下記の職種別要件を満たす人)	第1次試験		第2次試験 (第1次試験合格者対象)
			日時・会場	試験内容	
(一般行政職)	大学卒業者	各職種 若干人	平成5年4月2日以降に生まれた人 (各学校の令和5年3月卒業見込みを含む)	9月18日(日) 午前9時 渋川市勤労福祉センター	10月中旬以降 作文・面接
	短大卒業者				
	高校卒業者				
(建築技師)	大学卒業者	各職種 若干人	昭和63年4月2日以降に生まれた人 (各学校の令和5年3月卒業見込みを含む) ・1級建築士の資格(免許登録)を取得 している人	・一般教養試験 ・適正検査	10月中旬以降 作文・面接 ・体力 機能検査
	短大卒業者				
	高校卒業者				
消防職	大学卒業者	各職種 若干人	平成8年4月2日以降に生まれた人 (各学校の令和5年3月卒業見込みを含む) ・消防官として職務遂行に必要な身体 (四肢関節機能を含む)が健全である人 ・採用後は渋川広域圏内に居住できる人	・一般教養試験 ・適正検査	10月中旬以降 作文・面接 ・体力 機能検査
	短大卒業者				
	高校卒業者				

※高校卒業者には、高等学校卒業程度認定試験合格者を含む

職員の声



星野 拓海
(令和3年度採用)
総務課企画財政係

■現在、どのような業務を担当していますか？

私は主に広報や財政、財産管理の事務を担当する総務課企画財政係に所属しております。組合の運営資金は公金であるため、適切な財務執行を行うよう、日々責任感を持って業務に取り組んでいます。

■広域組合を受験される皆さんへ

広域組合の業務は清掃・グリーンセンターの運営から斎場事業、救急医療事業など多岐に及びます。そのすべてが広域圏にお住まいの方の生活に欠かせない業務であり、従事・貢献できることにやりがいを感じることができます。

広域圏のより良い暮らしづくりに貢献したいという気持ちがある皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



吉田 修平
(令和2年度採用)
消防署本署第2課

■現在、どのような業務を担当していますか？

私は消防署本署第2課消防係に所属しており、消防隊と救急隊を兼任し、多種多様な災害現場に対応するため24時間体制で勤務しています。消防の仕事として、消火活動、救助活動、救急活動など各種災害対応はもちろんですが、火災の発生を予防するため、学校や病院などの事業所等に対し消防訓練の指導を行ったり、火災予防上危険がないかなどの検査を行ったりしています。私たち消防職員は、地域住民の安全・安心のため、毎日の業務を行っています。

■広域組合を受験される皆さんへ

消防という仕事は、大変な部分もありますが、その分やりがいのある仕事です。渋川広域消防本部に入ってやりたいこと、目的を持つことでよりやりがいを感じると思います。

「渋川広域圏内は自分の手で守る」という熱い気持ち、高い志を持った皆さんと一緒に働ける日を職員一同、楽しみにしています。

夜間急患診療所をご利用ください

夜間急患診療所は、渋川市社会福祉センター（渋川ほっとプラザ）の1階にあります。
夜間の急な発病や、けがをした時にご利用ください。

- 診療時間／毎日午後7時～午後10時
- 住 所／渋川市渋川1760番地1
- 診療科目／初期診療：内科、小児科、外科
- 電話番号／☎23-8899



現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、熱・せき等の風邪症状のある方は受診する前に電話をしていただくようお願いしています。